

| | |
|--------------|---|
| Title | 大阪大学看護学雑誌 30巻1号 投稿規程 |
| Author(s) | |
| Citation | 大阪大学看護学雑誌. 2024, 30(1), p. 71-72 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/94632 |
| rights | ©大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 |
| Note | |

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

大阪大学看護学雑誌 Nursing Journal of Osaka University 投稿規程

令和2年10月20日改正

1.投稿者の資格

著者は大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻統合保健看護科学分野教員、大阪大学医学部附属病院看護部職員が含まれていることとする。但し、編集委員会(以下、委員会)からの依頼についてはこの限りではない。

2.原稿の種類

1) 原稿の種類は、原著論文、研究報告、総説、資料であり、それぞれの内容は以下の通りである。

【原著論文】看護学の知識の発展に貢献する研究論文であり、オリジナルなデータもしくは分析に基づいたもの。得られた知見と実践への示唆が論理的に述べられているもの。

【研究報告】学術上および技術上、価値ある新しい研究成果で、前掲の「原著論文」と比較すると論文としての完成度にはやや難があるが、早く発表する価値があるもの。

【総説】看護学に関わる特定のテーマについて多面的に内外の知見を集め、また文献等をレビューして、当該テーマについて総合的に学問的状况を概説し、考察したもの。

【資料】看護学の発展において、臨床や教育現場に何らかの示唆をもたらす、資料的価値があるもの。例えば、実践報告・各種の活動紹介など。

2) 投稿論文の内容は、他の出版物(国内外を問わず)にすでに発表あるいは投稿されていないものに限る。

3.投稿手続

- 1) 原稿は執筆要領に沿って作成する。原稿には表紙を付し、上半分に表題、キーワード 4 語程度を記入し、それぞれの下に英語で併記する。また下半分には希望する論文の種類(原著論文、研究報告、総説、資料)を記入する。著者名と所属機関名については記載しない。
- 2) 原稿にはページ数と行数を入れる。
- 3) 原稿はワードと PDF ファイルにて提出する。
投稿時の件名を「看護学雑誌投稿論文について」とし、「看護学雑誌編集委員会担当者」宛に電子メールで提出する。

4.原稿の締切および採否

- 1) 原稿の締切は 9月末日(当日必着)とする。
- 2) 原稿の採択および論文の種類は査読を経て委員会で決定する。

3) 論文採択後、指定の原稿フォーマットに従って最終原稿を作成する。

5.著者校正

著者校正を原則として 1 回行う。但し校正の際の加筆は原則として認めない。

6.著作権

著作権は大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻に帰属する。原稿提出時に、委員会より提示される著作権譲渡同意書に著者全員が自筆署名し、論文とともに送付すること。

7.執筆要領

- 1) 原稿は、A4 版横書き(40 字×30 行)、フォントは和文を MS 明朝体、英文を Time New Roman か Century で作成する。
- 2) 原稿は、内容を問わず、本文、文献、図表を含めて、10 枚以内(12,000 字以内)とする。
- 3) 図表は、A5 サイズを 600 字に換算する。
- 4) 原稿には、400 字程度の和文抄録を付記する。なお、原著論文を希望する場合は、250 語前後の英文抄録(ダブルスペース)も付記すること。英文抄録はネイティブチェックを受けること。
- 5) 論文の見出しに使用する番号は、I → 1 → 1) → (1) の順に使用する。
- 6) 数字や記号(%など)、アルファベットは、原則として半角とし、括弧は全角とする。統計記号として用いる文字は、イタリック体とする(N , M , SD , $P < 0.05$, t -test など)。但し、ギリシャ文字(α , β , χ^2)はイタリック体を使用しない。有意水準と図表におけるアスタリスク(*)について、 P は大文字・イタリック体とし、 P と $<$ の間および $<$ と数値の間に半角スペースを入れる。「*」は他の記号で代替しないが、2 種類の差異が記載される場合は、他の記号を用いてもよい。
- 7) 年の表記は、原則西暦を用いる。元号表記は、行政資料の名称など、必要な場合のみとする。
- 8) 原稿の終わりに謝辞などの項を設けることができる。
- 9) 利益相反(COI)については、投稿時から遡って過去 1 年以内での発表内容に関係する企業・組織または団体との COI 状態を謝辞などの後に記載する。COI 状態のない場合は、「本研究に開示すべき COI 状態はない。」等と記載する。COI 状態がある場合は、委員会に連絡をする。
- 10) 外国語はカタカナで、外国人名、日本語訳が定着していな

い学術用語などは原則として原語のまま表記する。

- 11) 図、表および写真は、図 1、表 1、写真 1 等の通し番号をつけ、本文とは別に一括し、本文原稿右欄外にそれぞれの挿入希望位置を指定する。
- 12) 表の罫線は必要な横罫線にとどめ、縦罫線は使用しない。縦罫線のかわりに十分な空白をおく。
- 13) 表には *N* を入れ母集団がわかるようにし、表中の語は簡潔に記載し、単位も明瞭に示す。表注には一般注、特定注、確率注の 3 種類があり、表の下に表示する。一般注は表全体に関わる情報、特定注は特定の列、行またはセルに関する注釈、確率注はアスタリスクや他の記号が表中で *P* 値および統計的仮説検定の結果を示すためにどのように使用されているのかを示す。表注は、一般注、特定注、確率注の順序で並べる。記載例を文末に示す。
- 14) 文献記載の様式は下記に従う。
 - (1) 文献は本文の引用箇所の右肩に 1)、1~4) などの番号で示し、本文原稿の最後の一括して引用番号順に記載する。再掲は使用しない。
 - (2) 記載方法は下記に従う。
 - 【論文】著者名(発行年): 表題, 雑誌名, 巻(号), 頁-頁。
 - 【単行本】著者名(発行年): 書名(版数), 頁-頁, 出版社名, 発行地。
 - 著者名(発行年): 表題, 編者名, 書名(版数), 頁-頁, 出版社名, 発行地。
 - 【翻訳書】原著者名(原書の発行年/訳者名(翻訳書の発行年)): 翻訳書の書名(版数), 頁-頁, 出版社名, 発行地。
 - 【オンライン版で、DOI のない場合】著者名(発行年): 論文タイトル, 雑誌名, 巻(号), 頁-頁. URL (検索日: 年月日)
 - 【オンライン版で、DOI のある場合】著者名(発行年): 論文タイトル, 雑誌名, 巻(号), 頁-頁. Doi: DOI 番号
 その他は APA format (Publication Manual of American Psychological Association) を参照すること。

8.この規程は平成 17 年 4 月 1 日より発効する。

- 附則 この規程の改正は平成 23 年 10 月 26 日から施行する。
 この規程の改正は平成 25 年 2 月 25 日から施行する。
 この規程の改正は平成 28 年 2 月 1 日から施行する。
 この規程の改正は平成 30 年 7 月 1 日から施行する。
 この規程の改正は令和 2 年 6 月 10 日から施行する。
 この規程の改正は令和 2 年 10 月 20 日から施行する。

【図表記載例】

表 3 うつ病傾向の有無によるSCS-J[§]得点の差異 (*N* = 33)

| | うつ病傾向 | | <i>P</i> 値 |
|----------|--------------------|---------------------|------------|
| | あり (<i>n</i> = 9) | なし (<i>n</i> = 24) | |
| | 中央値 (四分位範囲) | | |
| 自分へのやさしさ | 3.0 (2.0) | 3.0 (1.0) | 0.595 |
| 自己批判 | 3.0 (1.5) | 3.0 (1.0) | 0.438 |
| 共通の人間性 | 3.0 (3.0) | 3.0 (2.0) | 0.257 |
| 孤独感 | 4.0 (2.8) | 4.0 (2.0) | 0.438 |
| マインドフルネス | 3.0 (2.0) | 3.0 (1.0) | 0.263 |
| 過剰同一化 | 2.5 (1.0) | 3.0 (1.0) | 0.002 * |
| 肯定的側面 合計 | 34.0 (9.8) | 39.0 (14.0) | 0.591 |
| 否定的側面 合計 | 42.0 (17.0) | 44.0 (14.5) | 0.497 |
| 合計得点 | 77.0 (10.3) | 85.0 (21.0) | 0.179 |

§: SCS-J (The Japanese version of the Self-Compassion Scale: セルフ・コンパッション尺度日本語版)

*: *P* < 0.05

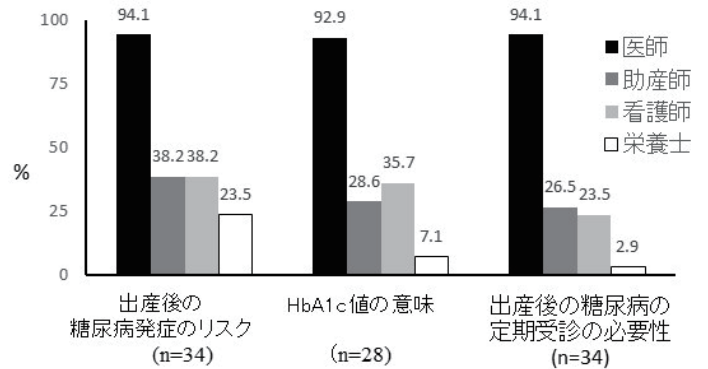


図3 妊娠糖尿病女性への指導と職種(複数回答)